

令和5年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

吉備の森 自然体験会

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設での宿泊を体験し、施設を知ってもらうとともに自然素材を利用したクラフトなどの活動を通し、自然に対する感性や探求心を高める。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和5年12月15日（金）～12月16日（土）1泊2日

(2) 参加者

① 参加対象・人数

幼児・小学生とその家族 10家族・30人程度

② 参加者

6家族・18人

(3) 講師等

石原 恵以子 氏（絵本専門士）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 天体観測の実施において天候をこまめにチェックし、荒天の可能性が高いと判断して絵本専門士による読み聞かせに切り替えた。
- ② クリスマスリースづくりでは、自然物を探す時間を十分に取ったうえで飾りとして使えるものを用意して選択できるようにした。また、開催要項にも飾りたい材料を事前に持って来て良いことを記載した。
- ③ 初日の様子を見て、野外炊事のグループを参加者主体で決めるようにした。
- ④ 野外炊事では、参加者の年齢を考慮してポトフからビーフシチューに変更した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

12月15日（金）		12月16日（土）	
18:00	受付	6:45	起床・清掃・点検
19:30	絵本の読み聞かせ	8:00	朝食
20:30	入浴	9:00	清掃
22:30	就寝	9:30	お部屋点検
		10:00	クラフト材料集め
		11:00	野外炊事
		13:30	クラフト (クリスマスリースづくり)
		15:00	解散

(2) 活動の状況



【絵本の読み聞かせ①】



【絵本の読み聞かせ②(工作)】



【クラフト材料集め】



【クラフト材料集め②】



【野外炊事①】



【野外炊事②】



【クラフト①】



【クラフト②】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ①このような企画がもう少し増えて、参加しやすくなったらありがたいです。
- ②自分たちがいろいろ動いてすることがたくさんで楽しかった。
- ③天候の関係で天体観測ができなかったので、ぜひやりたいです。

(3) 成果

- ① 天体観測の時の荒天時には職員による読み聞かせを予定していた。しかし、事前の天気予報から当日は星が見えない可能性が高かった。そこで、早めの判断をして専門性の高い絵本専門士に講師依頼をした。質の高い絵本の読み聞かせ、手遊び、工作と参加者にとって良い時間となった。当日は曇り空で星を見ることができなかったこともあり、今回の判断は良かったと考える。
- ② クリスマスリース作りでは、自然と触れ合うことができるようにするために、材料を探しの時間を十分に設けた。しかし、雨で自然物が濡れていたり参加者が思うような物が見つからなかったりすることを想定し、飾りとして使える物を用意して選択できるようにした。また、開催要項にも飾りたい材料を事前に持って来て良いことを記載し、意欲が高まるようにした。選択肢を増やすことで、多くの参加者が想像力を働かせながらクラフトを行うことができた。
- ③ 初日を終えて感じたことは、参加者の仲の良さであった。子供同士が積極的に関わり合い、大人は温かく見守り自分の子供でなくても進んで声をかけていた。そのような実態から、野外炊事では事前に決めていたグループでなく、席に着いたテーブルごとに調理を行った。どのグループでも協力し、笑顔で食事をすることができていた。
- ④ 野外炊事の事前研修を職員で行った。ポトフもおおいしかったが「薄味である」「野菜が大きい」ということが話題に上がり、小さい子にとってもっと食べやすいものがあるのではないかと再考する機会になった。その結果、ビーフシチューに変更した。当日は、小学生はおかわりをし、未就学児も残さず食べていて残量なく終えることができた。

(4) 今後の課題

- ① 上記のように、天体観測については早めの中止を決断した。今回はそれでよかったと思うが、アンケートには天体観測を希望する記述が複数あった。また、中止についての事前メールを送ったことにより、兄弟に中学生の参加者がいる家庭からはキャンセルの連絡が一件あった。天候のことは仕方がないが、そのような利用者の思いを大切にし、今回の情報を他の教育事業にもつなげたり家族での利用をうながしたりして天体観測をする機会を作れるようにしたい。

- ② クリスマスリースづくりでは、所内のツタを活用した。事前に下見をして、残りが少なくなっていることが気がりであったが、今回は行うことができた。作り終わった後に参加者はとても満足そうであり、今後も行いたい活動プログラムであるが、材料確保についての課題に対する解決策を考えていきたい。

担当：企画指導専門職 八木 雄治